



映画『東北おんばのうた : つなみの浜辺で』

(2020年, 80分) 英語字幕付き

[A Poetry Documentary](#)

Songs Still Sung: Voices from the Tsunami Shores

(2020, 80 minutes) SUBTITLED IN ENGLISH

どっこい、生き抜くおんばたち！

アナトリア国際映画祭2020入選(トルコ)

ヘリオス・サン・ポエトリーフィルム祭2020入選(メキシコ)

ナッソー映画祭2021オナラブル・メンション(米国)

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021アジア千波万波部門入選



岩手県大船渡市に住む5人のご年輩の女性に、『東北おんば訳 石川啄木のうた』の編著者で詩人の新井高子がインタビュー。おんばの自作詩歌、啄木短歌の土地ことば訳、さらに地元の愛唱歌が交響するなかで、それぞれの子ども時代、津波の体験、地方語の魅力が語られる。お年は79歳から100歳、なかには3度の津波を経験したおんばも。

監督の鈴木余位による、鮮やかな映像、繊細な詩情。アイオワ大学の協力で英語字幕も作られ、土地の響き溢れる語りは、国境を越える。震災10年の節目に、ポエトリー・フィルムの傑作誕生！

耳をすまして、ことばを「聴く」。

逆境を越え、ほがらかに生きる潮騒の女たちから、知恵とうたの宝物。

* おんば：大船渡の土地ことばで、おばさん、おばあちゃんの意。

撮影・編集・監督：鈴木余位

企画・制作：新井高子

出演：今野スミノ、三浦不二子、岩渕綾子、金野孝子、斎藤陽子、新井高子 十 大船渡のみなさん

制作協力：金野孝子、中村祥子、今野オワ子

企画協力：樋口良澄、中村祥子

題字：榎本了壺

資料：『東北おんば訳 石川啄木のうた』新井高子編著(未来社、2017年)

英語字幕：ケンダル・ハイツマン＋アイオワ大学「日本文学翻訳演習」受講学生

後援：寿限無亭(岩手県大船渡市)、日本現代詩歌文学館(岩手県北上市)、

埼玉大学大学院人文社会科学部研究科、アイオワ大学国際創作プログラム

監督) 鈴木余位／Yoi Suzuki

多摩美術大学在学中『はながないたらパリがくる』で、ぴあフィルムフェスティバル審査員特別賞受賞。個人映画から劇映画まで、映像作家として幅広く活動する。映画、美術、文学などのジャンルを横断し、詩人・吉増剛造や、画家・石田尚志との協働もある。

制作) 新井高子／Takako Arai

主な詩集に『タマシイ・ダンス』(小熊秀雄賞)、『ベットと織機』。震災をきっかけに、大船渡市で啄木短歌を土地ことばに訳す試みを企画し、『東北おんば訳 石川啄木のうた』を刊行。同書は、岩手沿岸部ベストセラーの一つとなった。2019年、アイオワ大学国際創作プログラム参加。

海のそばに生きる人々の心と言葉の強い絆

(読売新聞文化面(2020年3月10日付、朝刊)より)